

仕 様 書

(令和7年5月15日公告)

広島県会計管理部契約・調達管理課

1 輪転謄写機の機能

別紙「輪転機の基本機能」のとおり

2 保守業務等の内容

- (1) 輪転謄写機の搬入・搬出は、契約業者が県設置所属(別紙の「設置場所(所属名)」欄に記載した各所属をいう。以下同じ。)の指示に従って行うこと。
- (2) 輪転謄写機を常時正常な状態で使用できるよう、契約業者所定の時間内に保守及び消耗品(マスター及びインクとし、用紙を除く。以下同じ。)の供給を行うこと。
- (3) 県設置所属から修理・点検依頼があった場合は、専門の技術員を派遣すること。
なお、修理・点検依頼を午前に受けた場合は当日中に、午後を受けた場合は当日又は翌日の午前中に作業を開始すること。
- (4) 消耗品については、県設置所属の指示に基づいて契約業者が供給し、保管・管理は県設置所属が行うものとする。
- (5) 契約が終了した場合は、輪転謄写機及び残存消耗品を速やかに撤去すること。なお、この場合の撤去に要する費用は契約業者の負担とする。
- (6) 輪転謄写機の設置場所の変更は、県設置所属からの通知により、契約業者において行うこと。

3 輪転謄写機のマスター使用予定本数、インク使用予定本数及び設置場所等

- (1) 輪転謄写機のマスター使用予定本数、インク使用予定本数及び設置場所(所属名及び住所)は、別紙のとおりとする。
- (2) 契約業者は、当該輪転謄写機を令和7年8月29日(金)までに別紙記載の「設置場所」に設置するものとする。

輪転機の基本機能

	番 号	機 能	内 容	備 考
本 体	1	製版／印刷方式	全自動デジタル製版／全自動孔版印刷	
	2	画像解像度	読み込み 3 0 0 dpi×6 0 0 dpi以上	
	3		マスター穿孔密度 4 0 0 dpi×4 0 0 dpi以上	
	4	使用原稿	シート物、ブック物（1 0 kg以下）が使用可能	
	5	原稿サイズ	使用可能な原稿の最大サイズ 2 9 7 mm×4 2 0 mm（A 3サイズ）以上	
	6	製版時間	● A 3機 2 4 秒以下（A 4 等倍時） ● B 4機 2 6 秒以下（A 4 等倍時）	
	7	用紙サイズ	使用可能な用紙の最大サイズ 2 9 7 mm×4 2 0 mm以上 使用可能な用紙の最小サイズ 1 0 0 mm×1 5 0 mm以下	
	8	印刷面積	● A 3機 最大印刷可能面積 2 9 0 mm×4 1 0 mm以上 ● B 4機 最大印刷可能面積 2 5 0 mm×3 5 5 mm以上	
	9	用紙厚	4 9～2 0 9、3 g/m ² の用紙が使用可能	
	10	給紙容量	1、0 0 0 枚以上（6 4 g/m ² 紙使用時）	
	11	印刷速度	最高印刷速度 1 2 0 枚/分 以上	
	12	画像モード	文字・写真・写真文字混在・鉛筆の画像モードを有する	
	13	印刷倍率	固定倍率 拡大3種以上、縮小3種以上 5 0～2 0 0 %の任意ズームが可能	
	14	濃度調整	4 段階（標準含む）以上	
	15	印刷位置調整	天地±1 5 mm、左右±1 0 mmの調整が可能	
	16	多面印刷機能	要	同一原稿を一枚の 用紙に複数面印刷 する機能
	17	マスター給版・排版方式	全自動	
	18	排版容量	5 5 版以上	
	19	機密保持機能	要	使用済みマスター からの情報漏えい を防ぐ機能
	20	省エネモード	要	
	21	インターフェース 機能	インターフェース U S B 又は双方向パラレル（IEEE1284準拠）	
	22		対応OS Windows10以降に対応	
	23		対応プロトコル T C P / I P に対応	
	24	電源・最大消費電力	A C 1 0 0 V 最大消費電力6 0 0 W以下	
	25	原稿カバー	要	
	26	排紙台	紙揃え用プレート（手動）付	
	27	専用架台	要	
	28	グリーン購入法	適合	
	29	オプション（付加 可能な機能）	自動原稿送り装置 片面読み取り A 3 原稿が5 0 枚以上セット可能 （6 4 g/m ² 紙使用時）	※オプションを取 付ける場合は、別 途契約による。
	30		テープマーカ―又は ジョブセパレータ― 指定したプリント枚数ごとに自動的に区分けを行う機能	
	31		L A N 接続機能 Ethernet：100BASE-TX/10BASE-T（U S B 又は双方向パ ラレル接続機能と交換して取り付けるものでもよい。）	
	32	マスター	1 版当たりの対刷枚数2、0 0 0 枚以上 ● A 3機 1 ロール当たり2 0 0～2 2 0 版（A 3 版） ● B 4機 1 ロール当たり2 2 0～2 5 0 版（B 4 版）	
	33	インク	1 本当たり6 0 0～1、0 0 0 ml：S O Y（大豆油）又 はライス（米ぬか油）インク 使用インク使用量（A 4、画像面積率1 0 %） ● A 3機： マスター1 枚当たりの排版インク量 5、2 ml以下 プリント1 枚当たりのインク量 0、0 3 5 ml以下 ● B 4機： マスター1 枚当たりの排版インク量 4、2 ml以下 プリント1 枚当たりのインク量 0、0 3 5 ml以下	

※輪転謄写機は、工場出荷後の直納品であること。（展示品、中古品でないこと。）